

TWIT2019における海外論文発表



目で見る
海外論文発表

田中慶吾*

Oral presentation at TWIT2019

Key Words : Arc welding, Metal vapor, Electrode consumption, Thailand

<参加会議名>

The Symposium of Thailand Welding and Inspection Technology 2019 (TWIT 2019)

<開催場所> タイ・バンコク

<渡航期間> 2019年11月10日～12日

<発表タイトル>

Effect of metal vapor transport on melting and deformation of tungsten electrode during TIG welding

私は2019年11月11日にタイ・バンコクで開催された国際会議 TWIT 2019 (The Symposium of Thailand Welding and Inspection Technology 2019) に参加し、口頭発表を行いました。本会議はキングモンクッド王トンブリ工科大学 (KMUTT) が主催しており、最新の溶接プロセスや非破壊検査技術などを公表し、タイにおけるものづくり産業を発展させることを目的としています。2013年に第1回が開催され、今回が7回目の開催であり、私は2017年に続き、2度目の参加となりました。KMUTTの KINGWELD チームからは溶接冶金やワイヤ・アーク・アディティブ・マニュファクチャリング (WAAM) に関する研究発表があり、タイでの研究ニーズを学ぶ良いきっかけとなりました。

私はアーク溶接プロセスの一つであるティグ溶接

において溶融金属から副産物的に生じる金属蒸気に関する研究を行っております。今回は、アーク放電の起点となっているタングステン電極の溶融・変形に対する金属蒸気輸送の影響について発表しました。現地の研究者から興味を持っていただき、質疑の時間だけでなく発表後も議論を交わすことができました。他国の研究者との繋がりを広げることができ、私にとって良い経験となりました。

最後に、本会議への参加にあたり、多大なるご支援を賜りました生産技術振興協会、ならびに日ごろのご指導を賜りました田中学教授および茂田正哉准教授に、心より感謝申し上げます。



発表の様子



KINGWELD チームとの集合写真



ディナーでの交流



ワット・ポー



* Keigo TANAKA

1994年3月生まれ
大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻卒業 (2018年)
現在、大阪大学 接合科学研究所 接合プロセス研究部門 エネルギー制御学分野 博士後期課程2年 修士(工学) 溶接工学

TEL : 06-6879-8666

FAX : 06-6879-8689

E-mail : k.tanaka@jwri.osaka-u.ac.jp